

第56回 夏期
ウィーンナー ムジーク セミナー
ウィーン国立音楽大学
Wiener Musikseminar
要 項



主催 株式会社東京国際ツアーズ

後援 一般社団法人 東京国際芸術協会

■実施概要

Wiener Musikseminarは今年で56年目を迎えました。オーストリア共和国連邦首相ならびウィーン市長の支援のもと、ウィーン国立音楽大学で講習会を開催いたします。毎年およそ30ヶ国から300人以上の受講者の参加があります。ヨーロッパ、アメリカ各地の音楽大学とウィーン国立音楽大学の教授を中心とした教授達が個人レッスンを行います。言葉が不安な方は日本語通訳をつけることも可能です。

■開催地

ウィーン国立音楽大学

■マスタークラス各ブロック開催日程

2026年8月5日（水）～9月16日（水）

第1ブロック：2026年8月 5日（水）～8月14日（金）10日間

第2ブロック：2026年8月17日（月）～8月26日（水）10日間

第3ブロック：2026年8月31日（月）～9月 4日（金） 5日間

第4ブロック：2026年9月 7日（月）～9月16日（水）10日間

レッスン予定日：月～金：9時～17時

※上記期間内で4回のレッスンが行われます。

※夜コンサートがある場合、17時以降にレッスンを行う場合もございます。

※参加者の人数等によっては、土日にレッスンを行う場合があります。

■マスタークラスを受講内容

◎レッスンの申込みは、ツアー申込み完了後（内金50,000円の入金が完了した方）より開始されます。

◎教授の確定は申込み順で受付されます。

◎60分レッスン×4回（240分を4回以上に分割する場合があります。）

作曲者の異なる曲を3曲以上ご用意ください。

※4時間分のレッスンです。曲の尺が短いようであれば、複数ご用意することをおすすめします。

◎修了証

マスタークラス終了者には公式ディプロマを授与。

◎イベント&コンサート

マスタークラス受講者は、特別なイベントやコンサートに参加することが可能です。各ブロックにより、イベント内容が異なりますのでご確認ください。

■学科/担当教授とイベント（2026年3月現在）

第1ブロック：2026年8月5日（水）～8月14日（金）

室内楽科	Wolfgang Klos
クラリネット科	Christoph Moser
フルート科	Barbara Gisler-Haase
ホルン科	Sebastian Kolarz-Löschberger
ピアノ科	Helene Berger, Milan Franěk, Jenny Soonjin Kim, Thomas Kreuzberger, Giuseppe Mariotti
ビオラ科	Wolfgang Klos
ヴァイオリン科	Peter Schuhmayer, Edward Zienkowski
声楽科	Lucio Kyuhee Cho, Anné-Marie Condacse, Sona Ghazarian, Jeffie Leung, Victoria Loukianetz

◎期間中に開催されるイベントスケジュール

8月 5日（水）：オープニングイベント

8月 7日（金）：教授によるコンサート

8月 9日（日）：参加者によるコンサート

★会場は、ハイリゲンクロイツ＝グーテンブルン城（18世紀建築のバロック様式城郭）

8月13日（木）：コンペティション、参加者によるコンサート

8月14日（金）：受賞者によるコンサート

第2ブロック：2026年8月17日（月）～8月26日（水）

室内楽科	Alexander Arenkow
クラリネット科	Kurt Franz Schmid
フルート科	Andrea Wild
ピアノ科	Bernhard Parz, Sontraud Speidel, Stefan Stroissnig, Wolfgang Watzinger, Elżbieta Wiedner-Zajac, Raymond Young
サクソフォン科	Kurt Franz Schmid
ヴァイオリン科	Alexander Arenkow, Lothar Strauß
声楽科	Lydia Rathkolb, Barbara Zubanovic-Baranowska

◎期間中に開催されるイベントスケジュール

8月17日（月）：オープニングイベント

8月19日（水）：教授によるコンサート

8月22日（土）：参加者によるコンサート

★会場は、フランツ・ヨーゼフ・ハイドンの生家

8月25日（火）：コンペティション、参加者によるコンサート

8月26日（水）：受賞者によるコンサート

第3ブロック：2026年8月31日（月）～9月4日（金）

フルート科	Fereshteh Rahbari
ピアノ科	Manuel Araujo, Alexander Rössler, Jasminka Stančul
ヴァイオリン科	Eugeniy Chevkenov
声楽科	Brigitte Stradiot

◎期間中に開催されるイベントスケジュール（教授によるコンサートは開催されません）

8月31日（月）：オープニングイベント

9月 2日（水）：参加者によるコンサート

★会場は、メンヒェンドルフ教区教会

9月 3日（木）：コンペティション、参加者によるコンサート

8月 4日（金）：受賞者によるコンサート

第4ブロック：2026年9月7日（月）～9月16日（水）

クラリネット科	Kurt Franz Schmid
フルート科	Erwin Klambauer
ピアノ科	Vladimir Kharin, Johannes Kropfitch, Klaus Sticken
サクソフォン科	Kurt Franz Schmid
ヴァイオリン科	Anna Gutowska, Elisabeth Kropfitch
声楽科	Hermine Haselböck, Zoryana Kushpler

◎期間中に開催されるイベントスケジュール

9月 7日（月）：オープニングイベント

9月 9日（水）：教授によるコンサート

9月11日（金）：参加者によるコンサート

★会場は、ヒルデ・ワグナー・キュンストラーハイム

9月15日（火）：コンペティション、参加者によるコンサート

9月16日（水）：受賞者によるコンサート

■現地サポートについて

海外が初めての方でも安心してご参加いただけるよう、下記のサポートを行います。

- ・現地では、日本語を話せる専任スタッフがオリエンテーション（モデル日程2日目のサポート内容をご参照ください）を実施します。
 - ・大学でのオリエンテーション（モデル日程3日目のサポート内容をご参照ください）
 - ・現地滞在中でお困りの際には、専任のスタッフがサポートします。
 - ・レッスン中の通訳は本サポートに含まれておりません。
- 詳しくは、下記、『通訳について<オプション>』をご確認ください。

マスタークラス関連費用のご案内

以下、1、2、3は基本料金として必ず発生する費用となります。

4、5、6、7、8については、オプションとなりますので、ご希望をお知らせください。

1. マスタークラス参加費用

Registration fee（申込金）：207ユーロ

Course fee（受講料）：598ユーロ（60分レッスン×4回）

※レッスン受講者は原則として全てのレッスンが無料で聴講可能です。

15歳以下の参加者の付添者のご自身の お子さんのレッスンのみ無料で聴講可能です。

※申込状況によりご希望以外のレッスンとなる可能性がございます。

※申し込み後、諸事情により、担当教授が変更になる可能性がある事をご承知おきください。

※お申込（現地受講登録）後のキャンセルの場合100%の取消し手数料が発生いたします。

※このマスタークラスでは一般社団法人東京国際芸術協会の主催するコンクール・オーディションにおいて成績優秀者に学費免除推薦が認められています。

詳しくは、master@ti-tours.com までお問い合わせください。

2. 滞在費用

～滞在中のサポート費用が含まれている安心のパッケージです～

第1ブロック 1名1室利用：520,000円 2名1室利用：430,000円

第2ブロック 1名1室利用：520,000円 2名1室利用：430,000円

第3ブロック 1名1室利用：395,000円 2名1室利用：345,000円

第4ブロック 1名1室利用：520,000円 2名1室利用：430,000円

●上記滞在費用に含まれるもの

- 1) マスタークラス申込手続き代行手数料
- 2) 現地滞在2日目のオリエンテーション（1時間半程度）
- 3) 現地滞在中でお困りの際のサポート
- 4) ウィーン空港から滞在先までの往復送迎費用
- 5) 平日の夕食代金（初日はホテル到着時間が遅いため除きます）
- 6) 海外送金手数料
- 7) 宿泊費 - 各ブロックの宿泊数分（全て朝食付）

※お申込（現地受講登録）後のキャンセルの場合100%の取消し手数料が発生いたします。

●その他、個人でご負担いただく費用

- ・現地での追加レッスン費用およびその際の通訳費用
- ・航空券（下記「7. 航空券について」をご参照ください）
- ・海外旅行傷害保険代（ご参加の場合は必ず海外旅行傷害保険にご加入ください）
- ・現地での交通費、その他個人的性質の費用

3. 事務手続き費用

東京国際ツアーズの事務手続き費用として、お一人様、税込33,000円を頂戴いたします。

4. 通訳について<オプション>

通訳料：208ユーロ（希望者のみ、60分×4回分）

追加レッスンの通訳料：52ユーロ／1レッスンあたり（60分）

※大学教授とのレッスン時（60分×4回）に、音楽を専門にした日本人通訳が専任でご対応いたします。

※通訳料はご請求書発行時の当社規定レートにて、日本円でご請求となります。

※通訳を希望しない場合でも、教授が受講の際必要と判断した場合は、
現地にてお申込みいただきます。

5. 追加レッスン<オプション>

149.5ユーロ／1レッスンあたり

※追加レッスン費用はご請求書発行時の当社規定レートにて、日本円でご請求となります。

6. 練習室<オプション>

有料の練習室の予約代行を承ります。ご希望の日付と時間をお知らせください。

練習室の詳細に関しては、下記URLをご参照ください。料金は、室料+弊社手配料（2,000円/回）をご出発前までにお支払いいただきます。※予約完了後のキャンセルおよび変更は不可となり、返金はございません。

スタジオ名：Klavier Galerie

URL：https://pbs.bechstein.io/#/

7. 航空券について<オプション>

航空券をご希望の方は、弊社にて手配することも可能です。ご希望の場合は、お申込みフォームにご記入ください。

弊社が推奨するフライトは、下記となります。

往路：成田（11:10）→ウィーン（18:20） オーストリア航空（OS52）直行便

復路：ウィーン（13:30）→成田（翌日の08:50）オーストリア航空（OS51）直行便

※上記時間は、各ブロック共通です。

※第4ブロックのみ翌日の運航がないため、復路がセミナーの翌々日の帰国便となります。

※2026年3月時点の参考価格：185,000円～（燃油・諸税・発券手数料別途）

お申込み時期が遅くなるほど価格が上昇する可能性があります。

※アジア経由の場合、上記金額よりお安いフライトもございます。都度お問合せください。

航空券をご自身で手配される方へ

※自己手配の方に対しては、飛行機の遅延、延着等によりレッスンに間に合わない場合でも一切の責任を負うことはできません。（宿泊代金・レッスン費等の返金はいたしかねますので、ご了承ください）

8. 保険について<オプション>

保険をご希望の方は、弊社にて手配することも可能です。

お申込み可能な保険の種類は、海外旅行傷害保険と楽器保険がございます。

ご希望の場合は、お申込フォームにてお問合せください。

9. 最少催行人数は各ブロック共5名です。

マスタークラス渡航日程のご案内

■ 渡航日程

第1ブロック：出国 2026年8月 3日（月）～ 日本帰国 8月16日（日）（8月15日現地出発）14日間

第2ブロック：出国 2026年8月15日（土）～ 日本帰国 8月28日（金）（8月27日現地出発）14日間

第3ブロック：出国 2026年8月29日（土）～ 日本帰国 9月 6日（日）（9月 5日現地出発）9日間

第4ブロック：出国 2026年9月 5日（土）～ 日本帰国 9月18日（金）（9月17日現地出発）14日間

【モデル日程】 ※下記は、基本的な参考スケジュールとなります。

日程	スケジュール	サポート
1日目	11:10 成田空港発 直行便にてウィーンへ 18:20 ウィーン空港到着 滞在先へご案内	出発空港にてチェックイン手続きをサポートいたします 現地到着空港にて日本語を話すスタッフがお出迎え 専用車にて滞在先へお送りします
2日目	朝食後、滞在先および大学近辺のご案内	オリエンテーション（約1時間半程度） ・レッスンの場所 ・練習室の使い方 ・交通機関の利用の仕方 ・その他生活上の注意 ・緊急連絡先の案内 上記以外に 滞在先周辺（スーパーや飲食店等）をご案内いたします。
3日目	8:30 各自、公共交通機関を利用して ウィーン国立音楽大学へ 10:00 ウィーン国立音楽大学にて、 全体オリエンテーション レッスン受講	全体オリエンテーションは日本語でも対応します。 各自のレッスンスケジュールは、大学の掲示板にて確認してください。 ・緊急時のサポート
4日目 ～ 12日目	レッスン受講	・緊急時のサポート
13日目	13:30 ウィーン空港発 直行便にて日本へ	弊社指定のホテルにお出迎え 現地出発空港まで送迎（専用車&日本語アシスタント） チェックアウトのお手伝い、見送り
14日目	8:50 成田空港着	

※ 1. 弊社にて航空券購入した方のスケジュールを掲載しております。

ご自身で航空券を購入された方は、別途フライト情報をお知らせください。

※ 2. ご自身で航空券を購入された方の送迎に関しては、権利放棄とさせていただきます。

※ 3. 第3ブロックに関しては、3日目以降のスケジュールは下記となります。

レッスン受講：3日目～7日目、ウィーン出発：8日目、成田空港着

■ 滞在中のホテル

MyNext Hotel Rudy

住所：Schelleingasse 36, Vienna 1040

Tel：+43 677 627 408 48

rudy@mynext.at



ウィーン国立音楽大学受験を希望する方々へ

ウィーンナムジークセミナー開催期間中に、ウィーン国立音楽大学に留学を希望する方々を対象とした受験ガイダンスを行います。留学を決めている方はもちろん、まだ留学をするかどうか迷っている方も、このセミナーにご参加いただければ、ウィーンの留学現地事情をご理解いただけます。

※ガイダンス時には日本語版の留学資料もお渡しします。

●受験ガイダンス内容

- 1) ウィーン国立音楽大学 2026年度入試の受験曲案内
- 2) 受験の際のドイツ語テストについての案内
- 3) 楽典試験の内容と対策
(毎年出題パターンがおおよそ決まっているため参考資料をもとにご説明)
- 4) ウィーンの生活
(長期滞在に必要なオーストリアが発給するビザについての説明も含む)
- 5) 保険(病院などへかかる場合に必要な保険について)
- 6) 銀行口座の開設
- 7) 住まい(家)探し
- 8) ピアノレンタル
- 9) 電話インターネットの接続等の案内
- 10) 他個別質問にも回答いたします

※参加希望の方は申込みフォーム内の「受験ガイダンス」欄の「参加」をお選びください。

※申込みは現地でも可能です。その場合費用は現地払いとなります。

《ウィーンについて》

ウィーンには美術館、コンサートホールなどが多数あり、文化的な催しが多く開催されています。2025年のイギリス・エコノミストの「世界で最も住みやすい都市」ランキングでは、ウィーンが2位に選ばれています。このランキングは生活の安全性、医療分野の発達、文化的レベル、教育の質、インフラの5項目より決定されており、ウィーンがいかに安全で生活しやすい街か、を示す指標となっています

マスタークラス参加申込みについて

■ **募集期間：2026年3月13日（金）～2026年6月10日（水）**

◎ **募集・お申込み締切日：2026年6月10日（水）15:00申込みフォーム送信完了**

■ お申込み方法（手順）

① 申込みフォームの送信

受付期間中に、右のQRコードをスマホで読み込んで、申込みフォームに必要事項をご入力のおうえ、送信をお願いいたします。

ご参加希望のブロックは必ずフォームに記載をお願いいたします。

また、パソコンをご利用の方は、弊社ホームページの申込みフォームから同様に送信をお願いいたします。（<https://forms.gle/EfXGLKbPKoswnc2h6>）

受付期間：3月13日（金）～6月10日（水）15時送信完了まで



② 内金のお振込み

本マスタークラスはお申込み時に内金として50,000円をお預かりさせていただきます。

下記、銀行口座にお振込みをお願いいたします。（お振込み手数料はご負担願います。）

※お振込みの記録、または、振込明細書（お客様控え）は次の③で必要となります。

● 巢鴨信用金庫 西日暮里支店 普通 3187715

口座名：株式会社東京国際ツアーズ カ)トウキョウコクサイツアーズ

上記、①②の受領時点で正式なお申し込みとさせていただきます。

③ 必要書類をメールで送付

パスポートのコピーと、内金の振込記録（確認メール、または、振込明細書（お客様控え）のコピー）を下記メールアドレスに添付にてお送りください。

尚、パスポートをお持ちでない方は、速やかに取得の手続きをお願い致します。

書類の送付先：master@ti-tours.com

④ 残金のお振込み

オプション等の申込みが完了しましたら、弊社より最終確定のお見積書をお送りします。

ご確認後、ご了承返信メールをいただき次第、残金のご請求書をお送りいたします。

残金請求書の内容をご確認いただき、期日までに指定口座にお振込みください。

以上でお申込みが完了です。

■東京国際ツアーズ主催のオンライン説明会

2026年5月21日（木）17時にオンラインにて説明会を実施予定です。

ご参加は事前予約制とし、参加用URLは、お申し込みをいただいた方へご案内いたします。

参加をご希望の方は

2026年5月18日（月）16時までに、master@ti-tours.comへメールでのお申し込みをお願いいたします。

保護者様のご参加も可能です。

<キャンセルについて>

申込後のキャンセルの場合、事務手続き費用 33,000円につきましてはご返金いたしかねます。

その他の費用につきましては、以下の内容で取り消しをお受けいたします。

マスタークラス関連費用（大学への申込金・受講費、および宿泊費用）のキャンセル料	
・申込後（現地受講登録後）の解除	費用の100%
滞在費用のキャンセル料（宿泊費用を除く）	
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって 40日目にあたる日から31日目にあたる日まで	旅行代金の10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって 30日目にあたる日から3日目にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日及び前日にあたる日	旅行代金の50%
旅行開始日及び無連絡不参加	旅行代金の100%

<企画・お問合せ>

株式会社東京国際ツアーズ 池袋支店

観光庁長官登録旅行業1353号・(社)日本旅行業協会正会員

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-31-13 TEL・FAX 03-5927-1069 master@ti-tours.com

ウィーン国立音楽大学マスタークラス担当教授

🎵 Master Class Chamber music (室内楽)

Wolfgang Klos (ヴォルフガング・クロス)



ウィーン国立音楽大学元副学長。1981年よりウィーン・ストリング・トリオのメンバーとして国際的な名声を確立し、弦楽三重奏曲の百科事典的録音で世界的な評価を得る。ウィーン伝統の演奏様式を体現する第一人者として、独奏・室内楽の両面で世界の主要音楽都市で活躍。国際コンクールの審査員やマスタークラス講師としても権威を有する。

Alexander Arenkow (アレクサンダー・アレンコフ)



モスクワ音楽院で巨匠ダヴィッド・オイストラフに師事。グリンカ弦楽四重奏団の創設者・第1バイオリニストとして活躍し、ショスタコーヴィチ本人との緊密な協力関係のもと、その後期弦楽四重奏曲の普及に多大な貢献を果たした。1981年よりウィーンに拠点を移し、後進の育成において世界的なコンサートマスターを数多く輩出している。

🎵 Master Class Clarinet (クラリネット)

Christoph Moser (クリストフ・モーザー)



モスクワ音楽院で巨匠ダヴィッド・オイストラフに師事。グリンカ弦楽四重奏団の創設者・第1バイオリニストとして活躍し、ショスタコーヴィチ本人との緊密な協力関係のもと、その後期弦楽四重奏曲の普及に多大な貢献を果たした。1981年よりウィーンに拠点を移し、後進の育成において世界的なコンサートマスターを数多く輩出している。

Kurt Franz Schmid (クルト・フランツ・シュミット)



ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団首席奏者、ヨーゼフ・マティアス・ハウアー音楽院教授。室内楽では「ツェムリンスキー・クインテット・ウィーン」等の創設に参画。また、ウィーン伝統のG管クラリネット（ピックシュース・ヘルツル）の名手としてシュランメル音楽の継承にも尽力している。ウィーン楽友協会大ホールをはじめ世界各地で独奏者として活躍。多くの作品を献呈されるとともに、世界各地で後進の育成にあたっている。

🎵 Master Class Flute (フルート)

Barbara Gisler-Haase (バルバラ・ギスラー=ハーゼ)



ウィーン国立音楽大学教授。1974年「プラハの春」国際コンクール入賞。「ユバル・トリオ」等の室内楽活動や15枚以上のCD録音を通じ、フルートの多彩な魅力を発信。教育者としても世界的に著名で、ベストセラー教則本『マジック・フルート』等の著者であるとともに、国際的なコンクール勝者を数多く輩出している。

Andrea Wild (アンドレア・ヴィルト)



ウィーン市立音楽芸術大学 (MUK) 教授。ウィーン国立音大にて名手ヴォルフガング・シュルツ氏に師事。ウィーン・フィルをはじめとする主要オーケストラへの客演や、新ウィーン木管五重奏団等での室内楽活動を展開。教育者としては、演奏家の身体技法やメンタルケアを取り入れた独自の指導法でも国際的な注目を集めている。

Fereshteh Rahbari (フェレシュテ・ラハバリ)



ウィーン国立音楽大学講師、ウィーン市立音楽学校教授。ウィーン・フラウティスツ創設メンバー。フルート教育の世界的スタンダード『ミニ・マジック・フルート』の共著者であり、管楽器奏者のための呼吸法のスペシャリストとしても名高い。演奏家・教育者として、欧州からアジアまで幅広く活動を展開している

Erwin Klambauer (エルヴィン・クランバウアー)



ウィーン交響楽団首席フルート奏者、グラーツ国立音楽大学教授。ウィーン放送交響楽団首席奏者を20年間務めた後、現職。バロックから現代作品に至る幅広い表現力で、独奏者としても世界的に活躍。教育者としても、欧州の主要楽団や教育機関に多くの優れた人材を送り出している。

🎵 Master Class Horn (ホルン)

Sebastian Kolarz-Löschberger (セバスティアン・コラーツ=レシュベルガー)



ウィーン・トーンクンストラ管弦楽団首席ホルン奏者、ウィーン国立音楽大学講師。同大学を最優秀の成績で卒業。ウィーン・フィルやウィーン交響楽団にも定期的に客演し、世界の名指揮者たちから厚い信頼を得ている。首席奏者としての活動のほか、室内楽でもウィーン的主要音楽ホールで活躍する、次世代のウィーン・ホルン界を担う名手である。

🎵 Master Class Piano (ピアノ)

Helene Berger (エレーヌ・ベルジェ)



ピアニスト、作曲家。フランスの「カップ・フェレ音楽祭」芸術監督および「レオポルド・ベラン国際コンクール」副会長。エコール・ノルマル音楽院（パリ）等で研鑽を積み、世界各地でソロリサイタルやマスタークラスを開催。古典からジャズまで網羅する柔軟な感性を持ち、作曲家としてもアルバム『Reborn』を世界展開。教育者・審査員として、次世代の才能育成にも尽力している。

Milan Franěk (ミラン・フラニェク)



ピアニスト、欧州ピアノ指導者協会（EPTA）チェコ支部会長。アントニン・ペトロフ国際ピアノコンクール芸術監督。チェコとオーストリアの名門音大で学び、世界各地の主要大学でマスタークラスを開催。録音では『ジャズ・エチュード全集』が高い評価を得る。正しい身体技法と歴史的奏法を融合させた独自の指導アプローチにより、国際コンクールの審査員としても世界的に招聘されている。

Jenny Soonjin Kim (ミラン・フラニェク)



ソニー・クラシカル専属アーティスト。クレアumont大学院大学助教授。ウィーン国立音大客員教授。楽友協会大ホールやベルリン・フィルハーモニー等の主要舞台で世界的な楽団と共演。コジエルフのソナタ全集録音など歴史的価値の高い業績を誇る。米韓の文化親善大使としての顔も持ち、演奏、教育、芸術経営の各方面で国際的な影響力を持つ。

Thomas Kreuzberger (トーマス・クロイツベルガー)



ウィーン国立音楽大学教授。ウィーン出身。巨匠ミケランジェリらに師事。リストやシューマンに加え、現代作品のスペシャリストとしても名高く、欧州・米・日で精力的に演奏活動を展開。ウィーン市立音楽芸術大学でも教鞭を執り、国際コンクールの審査員や日本各地でのマスタークラスを通じて、ウィーン派の神髄を次世代に伝えている。

Giuseppe Mariotti (ジュゼッペ・マリオッティ)



徳島文理大学音楽学部長・教授。イタリア出身。ウィーン国立音大にて研鑽を積み、ポリーニやバドゥラ＝スコダに師事。ベーゼンドルファー・アーティストとして、ブゾーニのピアノ曲全集を録音。欧米およびアジアで幅広く演奏活動を展開する傍ら、日本国内の主要都市や韓国などでマスタークラスを開催し、国際コンクールの審査員も務める。

Bernhard Parz (ベルンハルト・パーツ)



ウィーン市立音楽芸術大学 (MUK) 史上最年少教授。ブラームス国際コンクール第1位。ベーゼンドルファー・アーティストとして、ウィーン伝統の「語るような音色」を体現する次世代の巨匠。世界各地で演奏活動を行う傍ら、教育者としてもその卓越した身体技法と音楽性を伝授し、数多くの国際的な勝者を育成している。

Sontraud Speidel (ザントラウト・シュパイデル)



カールスルーエ音楽大学教授。ドイツ連邦共和国功労勲章受章。メシアン夫人 (イヴォンヌ・ロリオ) やゲザ・アンダなど歴史的巨匠の薫陶を受け、世界各地で演奏・教育活動を展開。その卓越した指導力は、国際的なコンクール入賞者やプロ奏者を絶えず輩出していることで知られ、ドイツ・ピアノ教育界の重鎮として揺るぎない地位を築いている。

Stefan Stroissnig (シュテファン・ストロイニヒ)



ウィーン国立音楽大学客員教授。ウィーン・フィルよりクレディ・スイス賞にノミネートされるなど、次代のウィーンを担うピアニスト。シューベルトの解釈から現代音楽の超大作までを網羅する圧倒的なレパートリーを誇り、世界各地の主要ホールでソロ・室内楽ともに一線で活躍。巨匠バレンボイムらの薫陶を受けたその知的な音楽性は、国際的に極めて高く評価されている。

Wolfgang Watzinger (ヴォルフガング・ヴァッツィンガー)



ウィーン国立音楽大学教授。ドイツ出身。伝説的ピアニスト、ルドルフ・ゼルキンに師事。ドイツ全国コンクール優勝後、欧米、アジア、南アフリカなど世界各地で演奏活動を展開。1994年よりウィーン国立音大教授として多くの逸材を育てており、ウィーン伝統の奏法とゼルキン直伝のドイツ・ピアニズムを今に伝える重鎮である。

Elżbieta Wiedner-Zajac (エルジュビエタ・ヴィドネル=ザヨンツ)



ウィーン国立音楽大学准教授。ポーランド出身。オーストリア学術芸術名誉十字勲章受章。欧米やアジアなど3大陸で演奏活動を展開。1982年よりウィーン国立音大で教鞭を執る傍ら、作曲家としても活躍。ショパンをはじめとするポーランド音楽のスペシャリストであり、ウィーン伝統と自国の精神を融合させた独自の指導で高い評価を得ている。

Raymond Young (レイモンド・ヤング)



ウィーン・ミュージック・セミナー教授、ベーゼンドルファー・アーティスト。ウィーン国立音大にて修士号・指導法ディプロマを取得。ウィーンに10年以上在住し、バドゥラ=スコダ等からウィーン古典派の神髄を継承。オーストリア政府より最高奨学金を授与され、同国籍を贈られる。演奏家として世界各国で活躍する傍ら、アジア各国の主要音大や国際コンクール審査で中心的な役割を果たす名教授である。

Manuel Araujo (マヌエル・アラウジョ)



コインブラ・アキレス・デ・ル・ヴィーニエ国際音楽アカデミー芸術副監督。マドリッド音楽高等芸術学校教授。レオポルド・ベラン国際コンクール第1位。巨匠デ・ル・ヴィーニエの愛弟子として、ウィーン、パリ、ロシアの流派を融合させた卓越した技術と音楽性を継承。世界各地で独奏者として活躍する傍ら、欧州やアジアの主要大学でマスタークラスを行い、国際コンクールの審査員としても広く招聘されている。

Alexander Rössler (アレクサンダー・レスラー)



ウィーン国立音楽大学教授。マリア・カナルス国際コンクール入賞。ブラームスやヤナーチェク、室内楽全般に深い造詣を持ち、ジャズや即興演奏も取り入れる柔軟な芸術性で知られる。長年の指導経験に基づき、楽譜の徹底した分析と、表現に直結した身体技法を融合させるそのレッスンは、世界各地で高い信頼を得ている。

Jasminka Stančul (ヤスミンカ・スタンチュール)



ウィーン国立音楽大学教授。1989年ウィーン国際ベートーヴェン・ピアノ・コンクール優勝。ウィーン響、ベルリン響、ロサンゼルス・フィル、東京響など世界中の楽団にソリストとして招聘され、マゼールやサロネン等の巨匠と共演。室内楽でもウィーン伝統を支える名手たちと深く交流。現代を代表するベートーヴェン弾きの一人として、国際的な教育活動と演奏活動を両立させている。

Vladimir Kharin (ウラジーミル・ハリン)



ウィーン国立音楽大学ピアノ準備クラス講師。モスクワ音楽院、ドイツ・フォルクヴァング芸術大学を卒業。ロシア・ピアノズムの真髄を伝え、現在ウィーンで最も注目される「若き才能の育成者」の一人。指導する学生は世界各地の主要な国際青少年コンクールで次々と優勝を飾り、その指導力は世界的に高く評価されている。リサイタルや音楽祭での演奏活動に加え、国際コンクールの審査員としても活躍。

Johannes Kropfitch (ヨハネス・クロプフィッチ)



ウィーン市立音楽芸術大学鍵盤楽器部門長・教授。法学博士。ベーゼンドルファー・コンクール優勝、ロン＝ティボー国際コンクール入賞。名門「イエス・トリオ・ウィーン」のピアニストとして、またブラームス国際コンクールの創設者としてウィーン音楽界の中心を担う。古典から新ウィーン楽派まで網羅する深い知性と超絶技巧を併せ持つ、現代の権威である。

Klaus Sticken (クラウス・シュティッケン)



ウィーン市立音楽芸術大学 (MUK) 教授。ドイツ出身。浜松国際ピアノコンクール等での入賞を機に、欧州・ロシアの主要ホールやオーケストラと共演。クライネフやブレンデルといった巨匠の系譜を継ぎ、標準的なレパートリーから近現代の知られざる名曲までを深く掘り下げる知的な演奏スタイルで、世界的に高い評価を得ている。

🎷 Master Class Saxophone (サクソフォン)

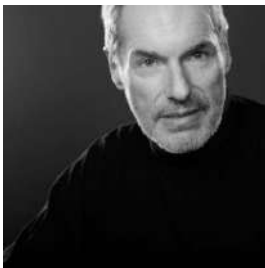
Kurt Franz Schmid (クルト・フランツ・シュミット)



ウィーン・トーンクンストラー管弦楽団首席クラリネット奏者。ウィーン国立音大にてウィーン・フィルの名手らに師事。クラシック演奏の第一線で活躍する傍ら、ウィーン伝統の民族音楽「シュランメル」の世界的権威としても知られる。ウィーン独自の奏法と音色を次世代に伝えるべく、欧州やアジア各地のマスタークラスで後進の指導にあたっている。

🎻 Master Class Viola (ビオラ)

Wolfgang Klos (ヴォルフガング・クロス)



ウィーン国立音楽大学元副学長。1981年よりウィーン・ストリング・トリオのメンバーとして国際的な名声を確立し、弦楽三重奏曲の百科事典的録音で世界的な評価を得る。ウィーン伝統の演奏様式を体現する第一人者として、独奏・室内楽の両面で世界の主要音楽都市で活躍。国際コンクールの審査員やマスタークラス講師としても権威を有する。

🎻 Master Class Violin (ヴァイオリン)

Peter Schuhmayer (ペーター・シューマイヤー)



ウィーン国立音楽大学教授。アルティス・クアルテット第1バイオリン奏者。世界最高峰の音楽祭やホールに出演し、40枚超のアルバムで数々の国際レコード賞を受賞。ウィーン・フィルの客演奏者として伝説的巨匠たちの指揮下で活躍した経験を持ち、ウィーン派の伝統と現代的な室内楽の真髄を兼ね備える。国際的な名教授として、世界中の名門音楽大学で後進の指導にあたっている。

Edward Zienkowski (エドヴァルト・ツイエンコフスキー)



ウィーン国立音楽大学主任教授。ベルリン・フィル団員、WDRケルン放送響コンサートマスター、バイロイト音楽祭管弦楽団コンサートマスターという輝かしい経歴を持つ。世界各地で独奏者として活躍する傍ら、1992年よりウィーン国立音大にて教鞭を執り、国際的なバイオリニストを多数輩出している現代の名教授である。

Alexander Arenkow (アレクサンダー・アレンコフ)



ウィーン市立音楽芸術大学 (MUK) 教授。巨匠オISTRAフの愛弟子。グリーンカ弦楽四重奏団のリーダーとして世界を席卷し、シヨスタコーヴィチと協力して数々の名曲を世に送り出した。1981年よりウィーンを拠点に、ロシア学派の神髄とウィーンの伝統を融合させた指導を展開。門下からは世界各地の主要楽団でコンサートマスターを務める逸材が続出し、現代バイオリン教育界の生ける伝説となっている。

Lothar Strauß (ローター・シュトラウス)



ウィーン国立音楽大学教授。ベルリン国立歌劇場管弦楽団 (シュターツカペレ・ベルリン) 元第一コンサートマスター。22歳の若さで同団史上最年少のコンサートマスターに就任し、バレンボイムやティーレマンら巨匠のもとで長年ドイツ音楽の真髄を支えた。バロックから現代、オペラから交響曲まで網羅する圧倒的な経験を持ち、現在もウィーンを拠点に次世代の育成に力を注いでいる。

Eugeniy Chevkenov (エフゲニー・シェフケノフ)



ウィーン・リヒャルト・ワーグナー音楽院教授。博士 (PhD)。世界40か国以上でソロおよび指揮者として活躍し、カーネギーホールやウィーン楽友協会など主要な舞台に出演。オーストリア音楽界への多大な貢献により、同国名誉市民権および国家教授の称号を授与される。長年の指導経験に基づき、ウィーンとブルガリアの両拠点で次世代の育成に尽力している。

Anna Gutowska (アンナ・グトフスカ)



ウィーン国立音楽大学講師。ポーランド出身。ローザンヌ音楽院、ウィーン国立音大をいずれも最優秀で修了。数々の国際コンクールで入賞し、独奏者として国際的に活躍。2012年より巨匠ツイエンコフスキー氏の助手を務め、2016年からは同大学にて次世代のスターを育てる英才教育・準備課程の指導を担当している。

Elisabeth Kropfitch (エリザベート・クロプフィッチ)



ウィーン国立音楽大学教授。巨匠シュナイダーハンの高弟。ウィーンの伝統を体現する「イエス・トリオ・ウィーン」のリーダーとして世界的な演奏キャリアを誇る。ウィーン国立音大にて長年後進の指導にあたり、名手たちの助手を務めた経験から培われた緻密な指導法には定評がある。1751年製グァダニーニの銘器を操り、気品あるウィーンの音色を今に伝える。

🎵 Master Class Violoncello (チェロ)

Claudia Sallagar (クラウディア・ザラガー)



ウィーン国立音楽大学講師、ウィーン市オッタクリング音楽学校長。名門楽団やアンサンブルで30年以上の演奏キャリアを誇る。ウィーンの世界を牽引する立場から、技術指導のみならず、演奏者の個性を引き出すコーチングや入試対策、ステージングに至るまで、実践的かつ多角的な指導に定評がある。

🎵 Master Class Voice (声楽)

Lucio Kyuhee Cho (ルチオ・キュヒ・チョ)



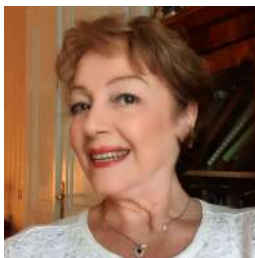
バリトン歌手。中央大学校教授。ウィーン国立音大等でドイツ歌曲とオペラの神髄を学ぶ。マリア・カラス・グランプリ入賞、シューマン国際コンクール入賞など輝かしい受賞歴を誇り、ニューヨークのカーネギーホールや韓国国立オペラ等で活躍。ウィーン・プライナー音楽院やソウル大学校等で長年教鞭を執り、現在は釜山国際歌曲祭の総音楽監督として国際的な音楽交流の第一線に立っている。

Anné-Marie Condacse (アンネ＝マリー・コンダクセ)



ソプラノ歌手。オクラホマ州立大学教授。音楽博士 (DMA)。欧米、中東、アジアの各国でソリストとして活躍。声楽教育学と声楽科学の博士号を持つ発声のスペシャリストであり、ウィーン国立音大でも客員教授としてアメリカン・オペラの指導にあたった。豊かな表現力と学術的裏付けに基づいた緻密な発声指導により、世界各地のマスタークラスで高い信頼を得ている。

Sona Ghazarian (ソナ・ガザリアン)



オーストリア宮廷歌手。ウィーン国立歌劇場を拠点に、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場等で103の役を演じ、カラヤンやクライバーら伝説的巨匠と共演を重ねた世界最高峰のソプラノ。オーストリア共和国より科学・芸術名誉十字勲章を授与される。現在、その比類なき経験を次世代に伝えるべく、国際的なマスタークラスで声楽技術と表現の真髄を伝授している。

Jeffie Leung (ジェフィー・レオン)



香港浸会大学講師。ウィーン・ムジークセミナーの教授として招聘された初の中国人音楽家。ロンドン・トリニティ音楽大学フェロー (FTCL)。20年以上にわたる声楽指導のキャリアを持ち、香港の「YOUNGVOCALISTS」創設者として、数多くの若き才能を育成。ウィーン・ムジークセミナー出身の教授として、受講生の視点に立ったきめ細かな指導を行っている。

Victoria Loukianetz (ヴィクトリア・ルキアネッツ)



ソプラノ歌手。元ウィーン国立歌劇場専属歌手。世界五大歌劇場のすべてで主役を務め、パヴァロッティやムーティら巨匠たちと共演を重ねた現代最高のソプラノの一人。圧倒的な歌唱とキャリアを背景に、現在はウィーンを拠点に世界各地でマスタークラスを開催。2007年よりウィーン・ムジークセミナーの顔として、オペラ歌唱の極意を次世代に伝えている。

Lydia Rathkolb (リディア・ラトコルフ)



ソプラノ歌手。音楽学博士 (PhD)。ウィーン国立歌劇場アンサンブルメンバーとして300回以上の公演に出演するウィーンを代表するプリマドンナ。コロラトウーラからオペレッタまで幅広い役柄をこなし、世界中の歌劇場や音楽祭に招聘されている。気功師の資格も持ち、発声法にメンタルトレーニングを融合させた独自の指導法で、ウィーン国立音大やプリンストン大学など国際的な教育現場で活躍している。

Barbara Zubanovic-Baranowska (ステージネーム：ヘレナ・ズバノヴィッチ)



グラーツ国立音楽大学教授。博士 (PhD)。バイエルン国立歌劇場アンサンブルメンバー。ドヴォルザーク国際、ロベルト・シュトルツ国際など多数のコンクールを制し、ウィーン・フォルクスオーパーやバイエルン国立歌劇場を拠点に世界各地の主要歌劇場で主役を演じる。キリル・ペトレンコをはじめとする巨匠たちと共演を重ねる、現代を代表するドラマチック・メゾの一人。豊富な舞台経験とアカデミックな知見を活かし、ウィーン・ムジークセミナー等で国際的な指導にあたっている。

Brigitte Stradiot (ブリギッテ・シュトラディオット)



ウィーン国立音楽大学教授。ベルヴェデーレ国際コンクール審査員。ウィーン国立音大を最優秀で卒業し、サンフランシスコやパリで研鑽を積む。バロック音楽のスペシャリストであると同時に、オペレッタや現代音楽まで網羅する幅広いレパートリーを持つ。欧州各地の国際マスタークラスで、発声技術と緻密な楽曲解釈を融合させた卓越した指導を行い、多くの有望な若手歌手を育成している。

Hermine Haselböck (ヘルミーネ・ハーゼルベック)



グラーツ国立音楽大学教授。ウィーン国立音楽大学元教授。アーノンクール、ペトレンコ、ティーレマンら巨匠との共演で知られ、歌曲録音でも数々の賞を受賞。演奏家としての華々しいキャリアと、音楽教育学・科学に基づいた高度な指導力を兼ね備える。門下から世界の主要歌劇場やコンクールで活躍する逸材を次々と輩出している、現代オーストリアを代表する名教授である。

Zoryana Kushpler (ゾリャーナ・クシュプラー)



ザルツブルク・モーツァルテウム大学教授。元ウィーン国立歌劇場専属歌手。ARDミュンヘン国際コンクール第1位。ウィーン国立歌劇場の中心的なメゾ・ソプラノとして10年以上にわたり活躍し、ティーレマン、ウェルザー＝メストラ巨匠、およびウィーン・フィルと数多くの録音・公演を共にしてきた。ウクライナ文化大使としての顔も持ち、現在はザルツブルクにて次世代のオペラ界を担う歌手たちの育成に情熱を注いでいる。